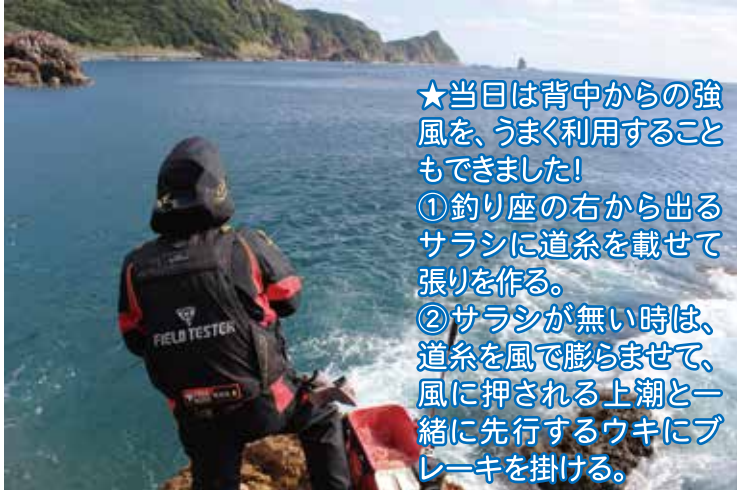




★当日は背中からの強風を、うまく利用することでもできました！
①釣り座の右から出るサラシに道糸を載せて張りを作る。
②サラシが無い時は、道糸を風で膨らませて、風に押される上潮と一緒に先行するウキにブレーキを掛ける。



↑サンノジは尾ビレ側のトゲに要注意!!



3ヒコでサンノジが来るということは、クロは、もう少しタナが浅いので2ヒコにします!



待望の口太グロ、やっとです!!



白い潮筋の先端のもぐり潮で来たよ!!

今日一番のきれいなオナガグロです!



すると海の中に変化が。エサ盗りが沖に出たらすぐに戻って来ます。そこで、海溝部に1杯だけマキエサを入れ、足元に2杯入れて、エサ盗りを見ると、やはり沖には出て行きません。これを確認してから、海溝部に仕掛けを入れて止めていると、仕掛けがゆっくり吸い込まれて、道糸を張らずゆるめずで送り込んでやると来ました。待望の口太グロです。やっとです。でもすぐに、このもぐり潮はなくなり、潮目が手前に寄って来ます。エサ盗りも更に元気に動き回ってま

す。次の1尾は、マキエサを広く打って、エサ盗りを広範囲に広げます。手前から沖までビッシリです。これは、魚の活性を上げさせるのと、まだ隠れているクロにアピールする感じです。そして、マキエサを1回切りまです。しぼしの休憩。コーヒータイムです。「休憩後は、確実に釣る!」が、私のポリシーです。足元に多めにマキエサを入れ、魚を寄せます。そして、仕掛けは、沈み瀬と潮目の間に投入して、ゆっくり右に流して、潮目付近で喰わせまます。今日一番のきれいなオナガグロです。この後もサイズアップをはかろうと一生

最後に

この号が出る頃は、寒グロ最盛期突入という年末から年始の最も熱い真冬になります。クロも、エサ盗りが少なくなり、釣りやすくなっていると思います。今回のようにエサ盗りやオナガの子にも遊ばれることもないと思います。ただ、強風時の釣りはあると思います。ですので、風裏の磯を探して、自分なりに一生懸命考えて、釣りを組み立てて、価値ある1尾を求めて下さい。サイズではなく納得の1尾のためにお互い頑張りましょう!

寒グロ季にも大変頼りになる
枕崎一带を案内してくれる
海星丸(星田船長) 枕崎港
☎090-9595-2005

